

OS交配

●ハウス ●◎1月～4月播き:半促成 ◎5月～8月播き:夏穫り・抑制
◎9月～10月播き:越冬 短期促成(西南)

キュウリ

かっぱん
強し

エクセレント620

●褐斑病に強い ●安定した草勢 ●高品質多収性



株式会社 埼玉原種育成会



エクセレント 620

特性と栽培のポイント

特性

- エクセレント節成1号・2号より枝が出やすい。
- 褐斑病に強い耐病性を示す。
- 果実肥大が早く、長期に亘り極めて安定する。
- 草勢が安定するため、収量の山谷が少なく作り易い。

適作型	ハウス：1月～4月播き 半促成 ：5月～8月播き 夏穫り 抑制 ：9月～10月播き 越冬・短期促成（西南暖地）
雌花率	1月～4月播き 主枝60%～70% 5月～8月播き 主枝40%～50% 9月～10月播き 主枝30%～40%
茎	太く、節間は中位。
葉	濃緑で厚く大きさ中位。
草姿・草勢	すっきりとした受光性の良い草姿であり、側枝の発生良好で収穫最盛期以降もしっかりと伸び続け、長期に亘ってスタミナが維持される。
果実	100g果で20～21cm。鮮緑で光沢極良。 首から尻まで整い、尻コケ・尻太果が少ない。トゲは中位。歯切れ良く食感良好。
収量	果実肥大が早く、安定した草勢により、長期に亘り秀品多収となる。
耐病性	特に褐斑病に対して、強い耐性を示す。

栽培のポイント 収穫までは、遅れずに摘む。収穫最盛期以降は半放任とする。

育苗

- ・鉢育苗ではリン酸を含む腐植の多い良質床土を準備する。定植時に鉢土が崩れない程度の育苗日数をとる。
- ・最適台木は、OS交配ゆうゆう一輝（黒タイプ）が良く、高い生産力を発揮させる。

植え付け本数

- ・節成り性が高い品種であるが、あまり密植しない事がコツとなる。3.3㎡あたりなら4～4.5株程度。

施肥

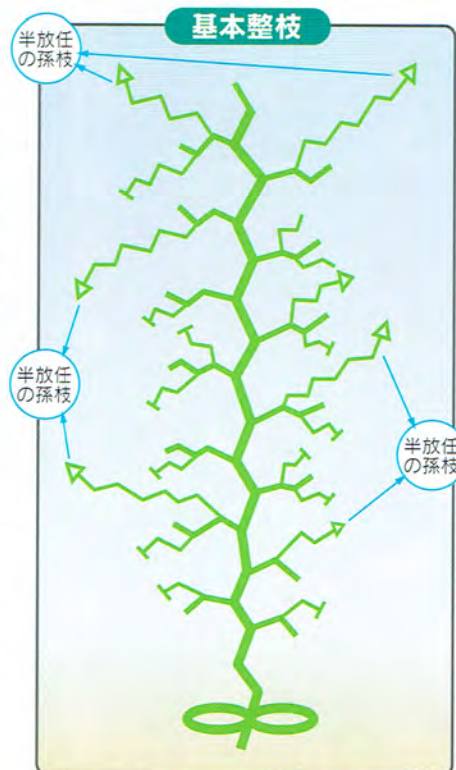
- ・元肥は、量や質を一般に準じて良い。バランスの良い肥効が、その後の草勢や品質・収量に影響するので、必ず施用前には土壤検定による施肥設計を行うと良い。
- ・追肥は、通常早めが良い。生育振りにも依るが収穫しようとする果実の開花より4～5日後、抑制では主枝の摘芯時等が追肥始めの目安となる。少量ずつこまめに施用すると良い。

灌水

- ・定植2～3日前に十分灌水しておき、定植当日に土中水分の過不足がないように準備する。定植後乾き易い抑制では、根量が増え日々生長が活発になってくるまでは多めの灌水をする。各作型とも旺盛に生育できるよう活着後も水を余り切らず、順調に側枝が発生し葉の展開がスムーズに行くよう適宜灌水していく。

摘葉及び整枝法

- ・収穫最盛期を過ぎる頃から、古い日陰葉や込み過ぎた部位を一回あたり1～2枚を限度として摘葉すると良いが、常に全体に亘り収穫果が見え隠れする程度に整える。
- ※草勢が弱ったときに、早摘みをしないこと。
- ※抑制では、特に後半の保温をしっかりと対応する。



側枝は下節位を1節、中～上位節を2節で摘み、収穫最盛期以降は半放任とする。



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元
株式会社 埼玉原種育成会
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)0854(代) FAX.0480(85)0407



OS交配種子 発売元
株式会社 シード
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)7211(代) FAX.0480(85)0407